

細江カトリック教会だより 6月号

〒750-0016 下関市細江町 1-9-15

☎083-222-2294

☎083-222-0970

広島教区テーマ；平和の使徒となろう

チャレンジ 新しい福音宣教 ～わたしをお使いください～

—家庭へのチャレンジ—

教会づくりへの取り組み

今年は季節が前倒しにされたのでしょうか、もう夏の蒸し暑さを感じるこの頃です。

さて、4月の信徒総会でも話題になったように、私たちの細江教会の聖堂は1階部分が建築60年を経ており、耐震が危ぶまれ、少なくとも10年以内には建て直すことが必要とされています。そのための検討委員会が立ちあげられ、先日は初めての会合が開かれました。

まずは現状を把握し、さまざまな可能性を探ってみることになりました。幼稚園を含めて、その位置と大きさや形について立案し、1年から1年半のうちにだいたいの構想を固めることを目指しています。



おりしも熊本の地震による大災害が発生し、まだ多くの人々が避難所の生活を余儀なくされており、復興への道のりは前途遼遠です。近い将来に予想される南海トラフ巨大地震が、ますます現実味を帯びてきました。私たちは、まるで大なまずの背の上で生活をしているかのようで、いつなんどき大災害に襲われるか、わかりません。

思えばイエスやパウロをはじめ、原始の教会の人々は世の終わりがすぐにも到来すると思っていました(マルコ13章参照)。現代の私たちは、そのような緊迫した終末意識を持ち合わせていないものの、相継ぐ自然災害を通じ

て、この世の生活が実にもろく、はかないものであることを思い知らされています。聖堂の再建に際しても、このことを忘れてはなりません。「主御自身が建ててくださるのでなければ、家を建てる人の労苦はむなしい」(詩編 127)。

私たちには現実をしっかり見つめて、しかも希望を持ち続けること、今自分にできることは何かを見極めて、それに励むことが求められます。かつてマルティン・ルターは言いました。「もし明日に世の終わりがくると知っていたら、

私は今日りんごの木を植えよう」。私たちの世界は過ぎゆくものですが、神さまは神の国の完成に向けて、私たちが今ここでできることをするように、望んでおられます。

新しい聖堂は、たとえ小さくても、皆が集

まりやすく、喜びをもって祈り、神さまと出会うことのできる場所、若い人々をも引きつける魅力的な家となりますように。しかしそれは、決して建物の問題ではありません。教会とは建物ではなく、むしろ主の名によって集まる生きた共同体だからです。私たちの共同体の信仰が新しい聖堂に表現され、これが世の人々に神さまの慈しみを現わすものとなりますように。

百瀬 文晃 神父

*挿入画はラファエロ「箱船の建設」

1517年頃

シリーズ 地区だより II

家庭へのチャレンジ

“家庭での祈り”

お祈りは信者としての勤めですが、恥ずかしいことに全くと言っていいほど、家ではお祈りはしていませんでした。ある日を境にお祈りをするようになりました。

それは、妻（ゆかり）が亡くなった日に、お母さんのために毎日お祈りをしようと、子供と約束し、それから毎日…たまにサボりますが…就寝前にお祈りをしています。

早いもので5年が経とうとしています。お祈りする度に、あの日の事を思い出します。今は二男も就職で家を出て、3人揃ってお祈りすることは難しいですが、お祈りは続けています。

この前、帰って来た時に「お祈りしている？」と、聞いてみたところ、二男は「してない」と答えた。さらに冗談で「自分が信者っていうこと忘れてない…？」と聞くと、二男…「最低でも、ご飯を食べる前は十字を切って食べているよ」と。私はそれを聞いて、子供の心の中で神に感謝すること、信仰という二文字が小さくても息づいていることに嬉しく思いました。

これからも、男3人できる限り祈り続けたいと思います。神さまが天国へ迎え入れてくれる日まで、妻・母親を忘れることがないように……。

中央地区 白濱 幸一



★4月29日（金）に津和野へ

清々しい中を、乙女峠祭のために舞台の設営をする。手伝いをする人々が年々高齢化しているが、機敏に動いている。

ここに写っていないけれど、女性陣も男性の邪魔にならないように働き、そして見守る。

巡礼の旅 5/3（火） 乙女峠祭

新緑の候、神さまは暴風雨の中での巡礼という小さな演出をされました。

信仰のゆえに迫害され、この地に送られて、最期を迎えた殉教者を思いながら……十字架を持ち、行列の先頭を務めるという大切な役目を受け、感謝し歩く。

野外ミサでは、浜口司教（大分教区）様のお話しと前田司教（大阪教区）様のお言葉と、風雨の中で神父様からご聖体をいただき、大きな恵みを感じたのは私だけではないでしょう……。

ミサ後、濡れた手が冷たくしびれていたもので、温かい一杯のコーヒーにひと息し、「恵みの時」の津和野を後にしました。

近藤 豊之





*乙女峠に巡礼して

親子で初めて巡礼バスに乗りました。今年下関ブロックが先頭ということで細江教会の列に入れていただき、参加しました。緊張しながら十字架の後をついて行きました。傘が全く役に立たない暴風雨で、迫害されたキリシタンに思いをはせる良い経験になりました。明治の初期、浦上から送られたキリシタンは、最後まで信仰を捨てることなく37人が乙女峠で果てました。

今年の野外ミサには全国各地、地震の被災地である熊本からも信者が集まり、1500人程になりました。

峠を下り、バスで下関に着くとき、『主の恵み』をいただいた清々しさが、巡礼の皆さまにあふれていました。

稲田 鏡子



介護研修会 認知症講座 5/15 (日)

*介護に携わっている「てとてとて」のメンバーによる講座。



認知症シリーズ 3 回目となる講習会が細江教会ホールで開催されました。

テーマは「もしも徘徊していたり、気になる人がおられたらどのように声をかけたらよいでしょうか?」。参加者は30名。

ご本人なりに目的があって行動していても心中は不安で一杯の方にどのように関わったら良いのかを、鳥居さんが方言交じりの軽妙な語り口で分かりやすく説明してくださいました。

認知症の人への対応 7 つの心得

○驚かせない ○急がせない ○自尊心を傷つけない ・叱らない ・褒める
・逆らわない ・笑顔で

特に○印3つの事を心して言葉かけをするように強調されました。

認知症の人、声かけをする人と役を決めての実習では、アカデミー賞候補者に勝るとも劣らない迫真の演技に、拍手喝采のひと幕もありました。

平成26年度、家族から警察に届けられた認知症行方不明は10783人(男6130、女4653)で、前年より461人(4.5%)増となっています。この数字には正直、びっくりしました。

もしかして徘徊者かと気になる人を見かけたら、とにかく声をかけましょう。

最後まで面倒を見なければと思う必要はなく、警察又は地域包括センター等への繋役として動くことで充分です。

これが認知症行方不明を未然に防ぐ第一歩となるのです。

良きサマリア人に倣い、主のいつくしみを実行する勇気をひとりひとりが持ち、その時を見逃さないようにしたいものだと、強く感じた実りのある講習会でした。

梶谷 紀子





＊メンバーの一人、木下公恵さんの指導で認知症予防体操。楽しく運動できました。



＊模擬の徘徊者と声かけ人のやり取りが名演技で、皆さん、お腹を抱えて笑った。

活動グループ紹介：ルルドの会 ルルドの会ってご存知ですか？

この会は細江教会の病人訪問チームです。3ヶ月に一度スタッフが集まり、入院しておられる方や、施設に入居しておられる方々の体調、病状、ご家庭の様子などの情報を共有しながら、訪問日を決めています。

原則として、月に一度、2～3人のメンバーで訪問しています。また、12月には、クリスマスカードに一人ひとりのお顔を思い浮かべながら、一言メッセージを添えて郵送します。そんな活動の中でスタッフがともに喜びを感じる瞬間があります。それは、一緒にお祈りを唱えるときの安らかなお顔を拝見したり、小浜さんや土橋さん達の嬉しそうな笑顔で私たちも癒され、逆に元気をいただいたときです。

でも、最近では、訪問して一月も経たないうちに帰天され、葬儀に参列し棺のお顔を眺めた時は、訪問してお話した時のことが思い出され、とても残念で淋しく思ったこ

ともあります。でも神さまの光によって照らされ、不安や苦しみから解放されて神さまの元で私達を見守ってくださると思っ、新しい力をいただいています。

今は病院や施設を主として訪問していますが、ご自宅に訪問してほしいとの要請があれば喜んで伺いますので、教会の事務室か地区長さんにご一報いただければ幸いです。また訪問の際に親しい方がご一緒にいただけると話も弾み喜んでくださると思いますので、ぜひ、お付き合いください。

それから、この会に入って一緒に活動されたい方がいらっしゃいましたら大歓迎です。どうぞお知らせください。

✦信仰と希望と愛に燃えて、この活動を続けていくことができますように。

アーメン。

ルルドの会 玉井 眞弓

行事予定

＊6月14日(火) 19:00

下関ブロック委員会

＊6月18日(土) 9:00～11:00

幼稚園園庭周辺の清掃

(お手伝いをお願いします)

＊7月 2日(土)～3日(日)

社会教説宿泊研修会(労働教育センター)

テーマ;今こそ武力によらない平和を・・・

詳細は掲示板をごらんください。

＊7月 3日(日) 堅信式・奉仕者任命式

聖体奉仕者・集会奉仕者・堅信志願者の

ための研修会のお知らせ

＊6/5、6/12 (14:00～15:30)

最終日の6/19・・・堅信志願者; 13:30～

奉仕者; 15:30～

熊本地震災害支援金のご協力に感謝!

福岡司教区へ 80,000 円、カリタスジャパン(熊本地震)へ 51,000 円を送金しました。

被災地の方々に私たちの祈りが届きますように～。